

時間短縮で救命率向上に期待、相双地域の救命医療に貢献

- 常磐道の開通により相双地域から仙台の三次救急医療機関への所要時間が約10分短縮
- 常磐道開通後の仙台への搬送割合は、開通前と比べて約2倍へ増加
- 常磐道が「命の道」として、相双地域の救急医療に貢献

▼三次救急医療機関の60分圏域及び所要時間

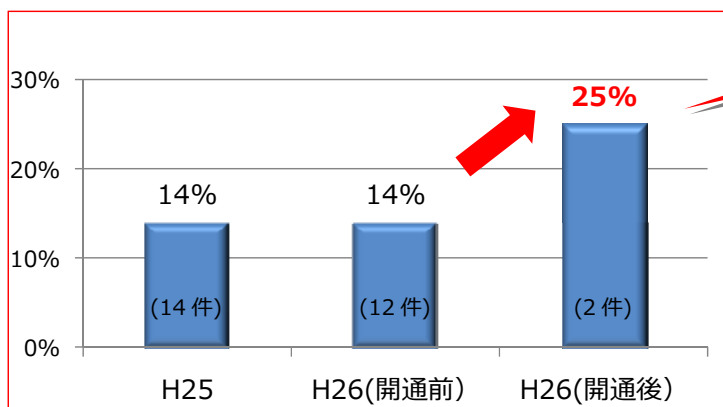


資料：H22交通センサス

※搬送実績は三次救急医療機関への搬送

▼三次救急医療機関への救急搬送実績の推移

（全体搬送件数に対する仙台方面への搬送割合）



仙台への搬送割合は、開通前に比べて約2倍へ増加

資料：相馬地方広域消防本部

H25：平成25年 1月1日～平成25年12月31日

H26(開通前)：平成26年 1月1日～平成26年12月 6日

H26(開通後)：平成26年12月7日～平成26年12月31日

※グラフ中()内の件数は仙台への搬送件数



■地域の声(地元消防(相馬))

- ・三次救急医療機関の搬送先は、**搬送時間と道路事情、症状等により判断**している。
- ・これまでも相馬から仙台へ救急搬送していたが、**搬送が速くなるので、常磐道をさらに活用する。**



■地域の声(常磐道利用者)

- ・今まで仙台に通院する際は、時間に遅れることがあったが、常磐道開通後は**時間通り通院出来るようになった。**(相馬市在住40代女性)
- ・**仙台の大きな病院への通院が楽になった。**(南相馬市在住60代男性)